

## 「さんべボランティアセミナー」

### 1 趣 旨

- (1) ボランティア活動を始めようとする青年に、ボランティアについての学びの場を提供することで、社会の様々な場面で主体的に活動しようとする姿勢やボランティア精神を育む。
- (2) 先輩ボランティアやボランティアセミナーに参加した仲間、そして、三瓶青少年交流の家職員とのつながりをつくることで、今後のボランティア活動への意欲を高める。

### 2 事業の概要

- (1) 期 日
  - ① 令和4年5月28日(土)～5月29日(日)〈宿泊研修〉
  - ② 令和4年7月9日(土)、7月10日(日)〈日帰り研修〉
- (2) 会 場
  - ① 国立三瓶青少年交流の家
  - ② 松江市城東公民館
- (3) 対 象  
ボランティア活動に興味のある青年(高校生、大学生、社会人)
- (4) 参加者(※募集各20名程度)
  - ① 大学生1人、高校生1人(申込:2人)
  - ② 大学生16人(申込:19人)
- (5) 講 師  
くにびき自然学校 佐藤 しのぶ 氏、大田市社会福祉協議会職員、国立三瓶青少年交流の家職員、法人ボランティア
- (6) 日程・研修内容  
ア 宿泊研修  
**【5/28(土)】**
  - 10:30 オープニング(趣旨説明)
  - 10:40 アイスブレイク
  - 11:30 「青少年教育施設の現状と運営(1.0h)」
  - 12:30 昼食
  - 13:30 「ボランティア活動の意義(1.5h)」
  - 15:00 「ボランティア活動の技術(4.0h)」
  - 17:30 夕食(野外炊飯)
  - 19:00 「青少年教育施設におけるボランティア活動①(1.0h)」
  - 20:00 ふりかえり・事務連絡・検温
  - 20:30 終了**【5/29(日)】**
  - 9:00 「安全管理(救命救急)(3.0h)」
  - 12:00 昼食
  - 13:00 「青少年教育(1.5h)」
  - 15:00 「青少年教育施設におけるボランティア活動②(1.0h)」

- 16:00 クロージング（振り返り）  
16:30 終了
- イ 日帰り研修
- 【7/9（土）】
- 9:30 オープニング（趣旨説明）  
10:40 「青少年教育施設の現状と運営（1.0h）」  
11:30 「青少年教育施設におけるボランティア活動①（1.0h）」  
12:30 昼食  
13:30 「ボランティア活動の意義（1.5h）」  
15:00 「ボランティア活動の技術（3.5h）」  
18:30 終了
- 【7/10（日）】
- 9:00 「安全管理（救命救急）（3.0h）」  
12:00 昼食  
13:00 「青少年教育（1.5h）」  
14:30 「ボランティア活動の技術（0.5h）」  
15:00 「青少年教育施設におけるボランティア活動②（1.0h）」  
16:00 クロージング（振り返り）  
16:30 終了

### 3 事業の特色

#### （1）プログラムデザインと企画のポイント

ア 「国立三瓶青少年交流の家ボランティア育成ビジョン」（国立三瓶青少年交流の家 HP 参照：<https://sanbe.niye.go.jp/volunteer/>）において、本事業は「育成の入口」に当たる。ボランティア養成共通カリキュラムを実施する上で、今後ボランティアとして当交流の家に継続して参加するよう、「参加者同士だけでなく、先輩ボランティアとのつながりも深めること」「当交流の家でのボランティア活動を理解してもらうこと」を大切にしている。

イ 参加者と先輩ボランティアとのつながりも深めるため、先輩ボランティアにも運営をサポートしてもらうようにした。

#### （2）運営のポイント

ア 参加者同士や先輩ボランティアとの交流を深めるため、先輩ボランティアは運営補助主体ではなく、参加者と共に講義・演習に参加することに専念することとした。

イ 「青少年教育施設におけるボランティア活動」では、先輩ボランティアから当交流の家の事業説明等を行うことに加え、過去の体験から得た学び・気づきを、参加者に直接語ることとした。

ウ 今年度から、大田市社会福祉協議会の方を講師に招き、「ボランティア活動の意義」についてより専門性の高い知見から講義いただいた。

#### （3）広報のポイント

ア 島根大学教育学部については「1000時間体験学修」と連携し、学生を募ることができた。

イ 一般社団法人いわみのチカラと連携し学生を募ることができた。

ウ 島根県立大学出雲キャンパスの学生に当施設のボランティア活動に関する動画作成を行い広報し、学生を募ることができた。

### 4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	88.9	11.1	0	0
運営	100	0	0	0
講義・演習の内容	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

(2) 参加者の声

- 「ボランティアにはそんなに責任はないだろうと思っていたのですが、実際は責任があることを知りました。今後はもっと想定する力、予測する力をつけ、どうすれば安全が守れるか考えつつボランティアに参加したいです。」
- 「グループワークなど、アクティブラーニングがたくさんあって、吸収するものが多くありました。」
- 「今後、人と関わる際に、相手のことを決めつけずに、会話をしながら相手の真相を理解できるように関わりたい。」

## 5 成果と課題

### 《成果》

- 大田市社会福祉協議会と連携し、高い専門性を有した職員による講義を展開することができた。
- 参加者同士のつながりを深めることを大切に企画・運営を行い、結果として、事業の前後に集団に対する居心地具合を問ったところ、参加者全員が集団に対する居心地が向上し、セミナーを終えた時には連絡先を交換し合う姿も見ることができ、参加者同士のつながりを深めることができた。
- 昨年度はボランティアセミナーに参加したが、その後のボランティア活動の申込みが少なかったため、今回は年度計画を伝え、どのボランティア活動に参加してみたいかのアンケート調査を行った。そのアンケート結果を踏まえ、今年度のボランティア活動の広報を進めていきたい。

### 《課題》

- 新型コロナウイルスの状況に合わせて、2回目のセミナーは開催日程や会場を柔軟に変更し開催できたことは一つの成果であるが、1回目のセミナー受講者と活動内容に違いが生じることとなった。今後、会場が変わっても活動内容に違いが生じないように企画していく必要がある。



(担当：事業推進係 木元 謙太郎)